

「岡山医学検査」投稿規定

《投稿者の資格》

1. 筆頭者は岡臨技会員に限ります。
責任著者が岡臨技会員であれば技師養成校の学生の投稿を認めます。
2. 共同演者に非会員のある場合は、1編につき掲載料 1,000 円申し受けます。(学生は除く)
3. 共同発表者は原則として8名以内とします。

《原稿の分類と概要》

1. 投稿論文は臨床検査・公衆衛生検査等の分野で他紙、他学会等関係出版物に未発表のものに限ります。
2. 原稿はホームページより A4 判テンプレートをダウンロードして使用して下さい。

〔総説〕 臨床検査の総体的、あるいは専門的な内容、管理運営等について編集委員から依頼します。仕上がり 6 頁を限度とします。

〔原著〕 検査法などオリジナルな内容のもの。仕上がり 6 頁を限度とします。

〔研究〕 検査法の比較、臨床経過との対比、検査法・機器の改良等に関するもの。仕上がり 5 頁を限度とします。

〔症例〕 臨床例を中心として臨床検査をまとめたもの。仕上がり 4 頁を限度とします。

〔試薬と機器〕 既成キット、機械・器具・試薬を検討したもの。仕上がり 4 頁を限度とします。

以上の原著、研究、症例、試薬と機器の論文は 5 個以内の key word (英語も可) を指定してください。

〔精度管理報告〕 岡山県臨床検査技師会主催の精度管理調査の報告。

〔技術解説〕 日臨技、他学会などで確認された技法、最新技術などの紹介。仕上がり 4 頁を限度とします。

《査読》

岡臨技では、投稿論文の査読は原則行いません。ただし、担当部門長が必要と判断した場合は査読を行います。査読者は担当部門長、または、担当部門長が指名した岡臨技会員とします。

最終確認では、ご自身でも誤字脱字の確認をお願いします。

《原稿の取り扱い》

1. 論文の採否、掲載順序、分類等は編集委員会が決定します。
2. 原稿(図表)は原則として返却しません。
3. 著者校正は原則として初校のみとし、PDFにて行います。
4. 制限枚数を越える原稿は、書き直しを要請するか、編集委員で調整することがあります。

《論文の倫理》

1. ヒトを対象とした研究などは、ヘルシンキ宣言およびこれに準拠した倫理規定に従い実施されていることが必須です。原則として関連施設の倫理委員会等の承認を得たこと、インフォームドコンセントが得られたことを論文中に記載する必要があります。動物を取り扱った研究においても施設内の動物実験に関連した委員会等の承認を得た旨を記載してください。
2. 患者本人などを特定しうる個人情報をも本人の承諾無く無断で開示しないでください。

《利益相反 (COI : conflict of interest)》

1. 投稿論文に関して特に企業製品の評価に関して助成金を受けている場合などはその旨を必ず本文末尾に記載してください。

《投稿時の誓約・同意》

1. 本誌に掲載された論文、抄録等の著作者人格権を除く著作権は一般社団法人岡山臨床検査技師会に帰属することを投稿者は予め承諾してください。
2. 本誌の内容は、本会が認める外部のサイトに掲載し、無料公開する場合があります。

《問い合わせ・送付先》

一般社団法人岡山臨床検査技師会事務所

「岡山医学検査」出版部

E-Mail : okaringi.101@gmail.com

HP : <https://www.okaringi.or.jp/>

令和 8 年 4 月 2 日 改訂